

新公立病院改革プラン 令和2年度実績報告（浜松市国民健康保険佐久間病院）

1 地域医療構想を踏まえた役割の明確化について

（医療機能等指標に係る数値目標に対する実績）

医療機能等の指標	令和2年度 目標（A）	令和2年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
救急車受入患者数	233人	227人	△6人	97.4%
紹介率	16.3%	46.7%	30.4 ^{ポイント}	—
逆紹介率	17.7%	63.4%	45.7 ^{ポイント}	—

- 救急搬送受入患者数は227人で、目標値を6人下回った。
- 定期的に関業医との検討会を開催し、北遠地域内での医療連携体制の強化に努め、紹介率、逆紹介率ともに目標値を達成することができた。

2 経営の効率化について

（経営指標に係る数値目標に対する実績）

収支改善に係る指標	令和2年度 目標（A）	令和2年度 実績（B）	増減 B－A	達成率
経常収支比率	100.3%	100.4%	0.1 ^{ポイント}	—
医業収支比率	52.3%	44.6%	△7.7 ^{ポイント}	—
経費削減に係る指標				
給与費対医業収益比率	118.7%	130.5%	11.8 ^{ポイント}	—
材料費対医業収益比率	23.4%	21.4%	△2.0 ^{ポイント}	—
収入確保に係る指標				
入院患者延べ数	18,615人	11,422人	△7,193人	61.4%
入院診療単価	18,942円	21,535円	2,593円	113.7%
外来患者延べ数	24,220人	18,176人	△6,044人	75.0%
外来診療単価	10,153円	10,123円	△30円	99.7%
病床利用率	85.0%	52.2%	△32.8 ^{ポイント}	—
経営の安定性に係る指標				
医師数	6人	3人	△3人	50.0%
企業債残高	341百万円	341百万円	0百万円	100.0%

- 新型コロナウイルス感染症の影響により、入院・外来収益は減少したが、国・県補助制度の活用により、経常収支比率は目標を達成することができた。
- 入院の患者数は下回ったものの診療単価は、重篤患者の受け入れもあったこともあり目標値を上回った。

3 再編・ネットワーク化について

- 西部構想区域内では、特定機能病院及び地域医療支援病院における二次・三次救急医療体制が整備され、病院が連携し、それぞれの機能を有効に発揮している。

4 経営形態の見直しについて

- 当該地域の医療提供体制や住民ニーズから、現行の形態が適切であると考えているため、公設公営の経営形態を維持していくこととする。